

中間試験要領

助教授 濱本 正太郎

提出期限

11 月 28 日（月）正午までに、添付ファイル（Word、一太郎、テキストのいずれか）にて、shotaro@kobe-u.ac.jp に提出すること。

文字数

1 万字以内。字数の下限は設けない。

文献引用

日本語文献を引用する場合には、法律編集者懇話会「法律文献等の出典の表示方法」に従うこと。神戸大学法学部ウェブサイトトップページ→「研究学習資源」と進めば、この「表示方法」を参照することができる。この「表示方法」に従っていなくても減点対象とはしないが、できるだけこれに従うよう努力すること。

一般的な国際法の教科書・判例集以外のものを参照した場合、必ず引用すること。中間試験問題は「一般的な国際法の教科書・判例集」のみで回答できるものではないため、必ず何らかの文献が引用されるはずである。引用を明示していなければ、減点する。

日本語以外の文献については、特に引用方法は指定しない。

参照した文献を末尾に「参考文献」として挙げる必要はない。

共同作成

2 名で共同作成することを認める（というより、それを強く薦める）。3 名以上による共同作成は認めない。場合によっては、提出された答案について作成者それぞれに質問することがあり得る。

評価

期末試験で合格点（60 点）を越えた者については、期末試験の成績を中間試験の成績が上回る場合、二つの試験の平均点を最終成績とする。それ以外の者については、中間試験の成績は一切考慮しない。

必読書

以下の 2 冊をこれまでに読んだことがなければ、必ず熟読しておくこと。

本多勝一『日本語の作文技術』（朝日文庫）

木下是雄『理科系の作文技術』（中公新書）